

くまがや

VOL.75 2011

Kumagaya City public relations magazine



市街地が熱い！秋のイベント満載

11月6日、第10回オ・ドーレなおざねや熊谷えびす大商業祭の稚児行列などの各種イベントが中心市街地で開催されました。雨の中、元気な踊りと威勢のいい掛け声が市街地に響き渡りました。

CONTENTS

特集

- 2 マニフェストの取組状況を公表します
- 4 熊谷市文化功労者の表彰
- 5 12月は地球温暖化防止月間です
- 6 市政ワイド
まちを愛し、地域を愛し、人を愛する心をめざして ほか

- 10 市政情報
- 16 暮らしの情報
- 19 スポーツ情報
- 20 暮らしの相談
- 21 いきいき元気みんなの健康
- 24 文化施設情報

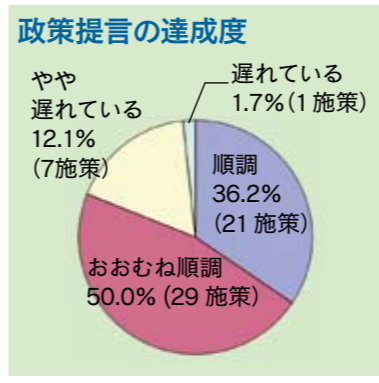
- 28 冬の交通事故防止運動始まる
- 30 フォトニュース・市報クイズ
- 31 シリーズ「荒川・利根川」・おたよりパレット
- 32 情熱世代・さあ歩こう くまさんぽ

特集 マニラエストの取組状況を公表します



概要

58の政策提言の達成度を次の4段階で評価しました。
 順調 ★★★★★ 3ポイント
 おおむね順調 ★★★★★ 2ポイント
 やや遅れている ★★★★★ 1ポイント
 遅れている ○ 0ポイント
 進捗率は評価の合計128ポイント満点の174ポイントで割った値です。
 この結果を踏まえ、自己評価を70点としました。



この一年の主な成果
 進捗率74%、自己評価70点(昨年比11%、12点アップ)

1 市民が元気で健康なまちをつくりまします

6月に日本陸上競技選手権大会が熊谷スポーツ文化公園陸上競技場で開催され、市内の小学生4千人をバスで招待しました。



日本陸上競技選手権大会

また、市立女子高校の跡地・施設を利用して、スポーツと文化に親しめる(仮称)スポーツ・文化村を整備する利用構想を策定し、平成25年度の一部オープンに向け基本設計を進めています。

政策提言	達成度
観るスポーツを誘致し、参加し、楽しむスポーツを振興します	★★★★
不妊治療費の助成を拡大します	★★★★
ふれあいいきいきサロンなど、高齢者等が楽しく過ごせる場を増やします	★★★★
校区連絡会の地域計画づくりを支援し、住みよい地域づくりを進めます	★★
高度救急医療を視野に入れた地域医療体制を充実させます	★
市立女子高校跡地を生涯学習、教育、スポーツの場にします	★★
熊谷東小学校区内に公民館を新たに建設します	★★

2 子どもたちが輝き、夢と希望がもてるまちにします

子育て中の親子の交流や、育児相談、育児情報の収集などができる地域子育て支援拠点として市内17か所目となる「ベアリス」を立正大学内に新設しました。
 また、秦小学校区に公立で33番目となる秦児童クラブを新設しました。



市内循環バス(直実号)

政策提言	達成度
中学校卒業までの子どもの医療費の無料化を継続して実施します	★★★★
小・中学校の屋内運動場を順次、改築します	★★
学力向上補助員と学校教育支援者を増員します	★★
外国人英語指導助手を市内全小・中学校に配置します	★★
0歳児保育を実施する保育所を増やします	★★★★
児童クラブを増やします	★★
子育て広場を増やします	★★★★
母子家庭に支給されている児童扶養手当を、他市にさきがけ、父子家庭にも支給します	★★★★
学校給食施設の整備を進めます	★



秦児童クラブ

3 活気にぎわいのあるまちをつくりまします

市内に事業所を新設・増設する企業への奨励金の交付要件を大幅に緩和し、企業が市民の雇用を促進するための奨励金制度を充実させました。あわせて、太陽光発電など環境に配慮した設備に対する奨励金のメニューも新設しました。
 また、市内の文化財やその保護事業を紹介するインターネット上の博物館「熊谷デジタルミュージアム」を開設しました。



熊谷デジタルミュージアム 検索

市長の政策提言(マニラエスト)について、2期目で2年目となるこの1年間の取組状況を6つの政策分野ごとにお知らせします。
 ◆政策調査課 内線369

政策提言	達成度
自転車道整備やバリアフリー化を進め、回遊性の向上を図り、中心市街地のにぎわいをつくりまします	★★
補助を伴う融資により、中小企業経営を支援します	★★
農地・水・環境保全向上対策事業の取り組みを支援します	★★★★
「熊谷フィルムコミッション」により映画撮影等の支援を行い、市のPRに努めます	★
熊谷中央地区のほ場整備を推進します	★★
市民の食の安心・安全を図るため、地産地消運動を進めます	★★
熊谷ブランド化を図り、地域物産情報の発信を進めます	★★
商店街の街路灯を省エネ電球(LED)に交換する支援をします	★★★★
祭りなど各種伝統行事の運営を支援し、観光客誘致に努めます	★★
既存企業の支援を強化するとともに、地球環境等に配慮した企業の立地を進めます	★★★★
妻沼聖天山を中心としたエリアを観光拠点として整備します	★★
携帯電話を利用して、いつでも街角の情報、観光案内が受けられるシステムを導入します	★★
歴史的、文化的資産をデジタル化した「熊谷デジタルミュージアム」を開設します	★★★★
豊かな里山など地域の魅力的資源を活用した交流事業「熊谷型グリーン・ツーリズム」を進めます	★★
テクノグリーンセンター用地に、県と共同で賑わい施設をつくりまします	★

4 安全と安らぎのあるまちをつくりまします

大規模災害発生時には、被害が消防など公共機関の対応能力を超えるおそれがあります。特に災害発生直後には自主防災組織の役割が非常に重要になるため、その組織率の向上と活動の支援を図っています。10月1日現在の組織率は51.4%です。
 また、家庭用太陽光発電設備と高効率給湯器の設置のため、予算を増額して3千万円の補助を行いました。

政策提言	達成度
「あつさはればれ 熊谷流」事業を充実し、先進的な環境プロジェクトを進めます	★★
自主防災組織の組織率を引き上げます	★★★★
子どもエコクラブを各小学校区に設置し、「環境について自ら考え、自ら行動できる子」を育てます	★
家庭用太陽光発電設備の設置費用を助成します	★★★★
犯罪抑止に効果の高い青色防犯灯への交換費用を助成します	★★★★
合併処理浄化槽の維持管理費用を助成します	★★★★
低公害自動車の軽自動車税に対して助成します	★★
企業の環境関係設備に対する課税上の支援をします	★★★★
市街地の公園を市民の憩いの場として再生します	★★
市民による公園の芝生化を進めます	★★
中央消防署を移転して整備し、消防力を強化します	★★



伊勢町ふれあい公園

5 便利で機能的なまちをつくりまします

老朽化した南運動場(野球場)を解体・芝生化し、避難場所にもなる「伊勢町ふれあい公園」としてオープンしました。

政策提言	達成度
橋梁の調査点検、維持管理を行い、長寿命化を図ります	★★
交通安全上、狭くて通行しにくい籠原駅東側などの踏切道の拡幅改良を進めます	★★
南運動場を多目的広場として再生します	★★★★
市内循環バスは、75歳以上の運転免許返納者の料金無料化を図るとともに、路線数を増やします	★★★★
街路樹による緑陰形成や路面温度を低下させる舗装等、地球温暖化防止の道路空間整備を進めます	★★
熊谷駅南北駅前交通広場の整備を進めます	★★
籠原駅北口周辺の電線地中化を進めます	★★
(仮称)熊谷西環状線の整備を進めます	★
(仮称)南部東西幹線の整備を進めます	-
(仮称)妻沼東西幹線の整備を進めます	★
東武熊谷線跡地の道路の整備を進めます	★★

また、市内循環バスに新たな路線を加え、江南地区を巡回する「ほたる号」と熊谷駅周辺の市街地を巡回する「直実号」の運行を10月から開始しました。

6 効率的な行財政経営を進めます

職員総数の抑制により、平成22年度の減員数は21人で、前年度と比較しての効果額は約1億6千8百万円となりました。
 また、平成22年度末の市債の残高は約69.5億円で、借入額の抑制と繰上償還により、前年度と比較して約37億円削減となっています。
 今後も引き続き行財政改革に取り組みまいります。

政策提言	達成度
市職員の数を減らし、人件費を大幅に削減します	★★★★
弾力的な財政運営を図るため、引き続き、市債を減額します	★★★★
指定管理者制度等の導入を拡大し、利用者の利便の向上を図ります	★★
新ハートフル・ミーティングを実施します	★★
特定行政庁へ移行し、建築確認等の利便性を高めます	★★★★

文化功労者の表彰

熊谷市教育委員会表彰規程に基づき、熊谷市文化功労者の表彰式が大里生涯学習センター「あすねっと」で行われました。文化功労者は、井上勲氏、大場三郎（大場香峰）氏、原口昌倫氏です。また、教育関係職員22人も表彰されました。
◆社会教育課 ☎内線394



原口 昌倫氏
(74歳) 箱田



大場三郎（大場香峰）氏
(78歳) 三本



井上 勲氏
(76歳) 原井

氏は、熊谷市バスケットボール連盟理事、理事長、副会長、会長等を歴任し、さらには、県バスケットボール協会審判委員長として審判技術の向上に努めるとともに、埼玉県中学校体育連盟研究部常任委員長として研究発表会を積極的に実施するなど、市内外にわたる活動により、スポーツの振興、競技力の向上に大きく貢献しました。

平成11年より、熊谷市体育協会常務理事に就任。広報専門委員会委員長として、精力的に各団体との意見調整を図り、機関紙「スポーツ熊谷」の紙面の一層の充実のため、編集手法の研究にあたっています。平成19年からは、副理事長として尽力し、市民の生涯スポーツの充実発展に多大なる貢献をしました。

また、熊谷市バスケットボール連盟、県北バスケットボール協会の設立に尽力し、組織の充実、基礎づくりに努め、県北バスケットボール界の発展を図るとともに、平成21年からは、それぞれの会長として重責を果たしています。

このように、卓越した情熱と指導力により、本市におけるバスケットボールの普及、スポーツの振興に寄与した功績は、誠に顕著であります。

氏は、書道団体「香風会」を主宰し、書の研さんに励み、公民館主催の書道教室の講師を務め、児童・生徒、成人の書法の指導にあたりながら、生涯学習の楽しさを伝えてきました。

江南総合文化会館を拠点として、江南書道連盟を結成し、書道作品の発表展示会を積極的に開催しています。

また、県外でも、特定非営利活動法人官公書道連盟事務局長、副理事長を歴任し、書展の開催等、書道文化の普及発展に努めています。

平成8年には、江南文化団体連合会発足に尽力し、副会長、会長を務め、文連フェスティバル、熊谷市江南文化祭、地域伝統芸能今昔物語等の開催、むさし江南音頭保存会の立ち上げなど、地域文化の向上に貢献しています。

また、埼玉県文化団体連合会理事、市町村部会副部長としても、文化振興の諸活動を展開してきました。

このように、精力的活動と情熱により、本市における書道の普及、文化振興に寄与した功績は、誠に顕著であります。

氏は、昭和33年より地域の青年学級の一環として柔道教室を開設、平成3年には妻沼町柔道連盟を設立し、長きにわたり柔道を通じ青少年の健全育成に努め、現在、柔道五段で妻沼柔道連盟会長、熊谷市柔道連盟副会長、熊谷市体育協会理事を務めるなど、スポーツの振興に大きく貢献しました。

また、35年にわたり地域文化財の調査研究、保護に努め、その発表会等も数多く開催しました。現在は妻沼地域文化財調査研究会会長として職務に精励し、その功績は誠に顕著であります。

公民館活動におきましても、高齢者学級講師として、地域の高齢者学習、健康増進等に20年にわたり尽力しました。

さらに、安全運転管理者協会副会長を20年近く務め、交通安全、事故防止に積極的に取り組み、警察庁長官表彰受賞。「子ども見守り隊」の地区代表として、児童の登下校時の防犯、事故防止に献身的に努めています。

このように、優れた人格と献身的努力により広い分野で活動し、本市の社会教育の推進、スポーツ、文化の振興に寄与した功績は誠に顕著であります。



12月は地球温暖化防止月間です

ウォーム・ビズやエコ・ドライブの実践、マイカーから公共交通機関に切り替えるなど、日常生活を見直して、地球にやさしいライフスタイルを実践しましょう。

◆熊谷市地球温暖化防止活動センター ☎048-536-0557
◆環境政策課（江南庁舎） ☎048-536-1521



あったかい
工夫いろいろ
楽しみながら
ウォームビズ
地球温暖化防止のため、
暖房時の室温は20℃に
しております。

ない事態が生じると予想されています。

京都議定書において、日本は1990年に比べて温室効果ガス排出量を6%削減することを約束しています。この約束を達成するためには、私たち一人ひとりが温室効果ガスを減らす取り組みを実践することが必要です。



ウォーム
WARM
ビズ
BIZ

暖房時のオフィスの室温を20℃程度に設定し、寒い時は着る。

過度に暖房機器に頼らない。そんな原点に立ち返り、暖房に頼り過ぎない生活を実践するのがウォーム・ビズです。ぜひ皆さんも重ね着をするなど実践しましょう。



冬のエコライフ DAYに参加 しましょう！

「エコライフDAY」とは、簡単なチェックシートを利用して、エコライフを経験していただくものです。

チェックシートを見ながら省エネ・省資源など環境に配慮した生活を行えば、削減できた二酸化炭素量が計算できます。チェックシートは、地球温暖化防止活動推進センターや環境政策課で配布しています。

地球温暖化防止のため冬のエコライフDAYに参加して、ライフスタイルを見直すきっかけを作りませんか。



金 低公害・低燃費 軽自動車に対する 奨励金制度

低公害・低燃費の軽自動車への乗り換えを推進するための奨励金制度です。軽自動車税を納付された場合、申請に基づき税相当額を奨励金として交付します。

対象となる軽自動車
平成24年度に新たに（初めて）課税される次の軽自動車
（平成23年4月2日～平成24

- ①電気自動車（燃料電池自動車含む）
- ②天然ガス自動車
- ③ハイブリット自動車
- ④平成17年排出ガス基準75%低減車（★★★）で、かつ平成22年度燃費基準25%向上達成車又は平成27年度燃費基準達成車

申請方法
平成24年度分の軽自動車税納付後に申請が必要です。詳しくは、平成24年度にお知らせします。

集 埼玉県地球温暖化 防止活動推進員

埼玉県では、地域において地球温暖化防止の普及啓発を行い、県民、事業者、行政とともに取り組みを推進する推進員を募集しています。

- 締切 12月16日（金）まで
- 任期 平成24年4月1日から平成26年3月31日まで
- 応募要件
①県内に在住し、心身ともに健康で、地域での活動を行えること。

- ②地球温暖化防止活動に対して熱意と識見を有し、地域での温暖化対策の普及啓発活動を自主的に行えること。
 - ③県等が実施する新規推進員研修に参加すること。
 - ④平成24年4月1日現在で、満18歳以上の方（ただし、高校生を除く。）
- 応募方法など、詳しくは、左記のホームページをご覧ください。
- http://www.pref.saitama.lg.jp/page/ondankasuisin.html
- ◆県温暖化対策課
☎048-833-0303

まちを愛し、地域を愛し、人を愛する心をめざして

12月10日は「人権デー」、12月4日～10日は、「人権週間」、「人権尊重社会をめざす県民運動強調週間」です。12月10日～16日は「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。啓発週間に機に拉致問題に対する関心を一層高めていただくようお願いいたします。

人権標語

- つたわるよ つないだ手から 思いやり 佐谷田小学校 5年 沼上 晃大さん
行動と 言葉でつたえる 思いやり 久下小学校 5年 渋谷 佳穂さん
笑顔はね 仲よくなれる 魔法だよ 中条小学校 5年 松岡 輝さん
かたむけよう 心の声に 君とぼく 市田小学校 5年 兼子 耕輔さん
ありがとう 君の言葉で つながる心 太田小学校 5年 三澤 奈央己さん

人権ポスター



第9回大里郡市人権フェスティバルが、深谷市花園文化会館「アドニス」で開催され、各市町の小学生による人権に関するポスター・標語の選作品の表彰が行われました。その中の本市の特選作品を紹介します。◆人権政策課 ☎内線356 ◆社会教育課 ☎内線388

12月3日～9日は「障害者週間」です

本市では障害の有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支えあい、地域で安心して暮らすことができる共生社会を目指して、様々な事業を行っています。◆障害福祉課 ☎内線530

障害のある方を対象としたNHK放送受信料の免除

全額免除 「身体障害」「知的障害」「精神障害」の所持者が世帯全員が市民税非課税の場合
半額免除 視覚・聴覚障害者が世帯主で契約者の場合
重度の「身体障害」「知的障害」「精神障害」の所持者が世帯主で契約者の場合

精神障害者保健福祉手帳(水色) 精神障害のある方のための手帳で、障害の程度により、1級～3級に区分されています。
療育手帳(緑色) 知的障害のある方のための手帳で、障害の程度により、A、B、Cに区分されています。

障害者作品展

施設を利用している障害者が創作した絵画、書道、工作等を展示します。
とき 12月6日(火)～9日(金)
ところ 市役所1階ロビー北



障害者週間とは 国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障害者が社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めることを目的とした週間です。
申請方法 免除基準に該当される方は、印鑑と障害者手帳を持参のうえ、障害福祉課または各行政センター福祉担当課で証明を受け、NHKに申請してください。
◆NHKさいたま放送局 ☎048-643-1030
FAX ☎048-641-7435

絶対ダメ! ネットいじめ 三尻小学校 6年 荒川 紫織さん
笑顔の花を 咲かせよう 妻沼南小学校 6年 芥藤 朱里さん
私の人権 みんなの人権 妻沼小学校 6年 津本 佳音さん
人権週間作品展 とき 12月5日(月)13時～9日(金)12時 ところ 市役所1階ロビー南
小学生の人権ポスター・標語の入賞作品、上須戸・籠原・石原保育所の人権啓発作品の展示

第22回 熊谷さくらマラソン大会 参加者募集中

とき 3月18日(日)
ところ 熊谷さくら運動公園陸上競技場
申込み インターネット 12月25日(日)まで
郵便振替 12月12日(月)まで
※定員になり次第締切り

Table with columns for distance (1.5km to 10km), number of participants, and age groups. Includes a '募集種目・定員' section and a '参加費' section.



ゲストラナー 増田明美さん 大東文化大学陸上競技部

平成24年度市民協働「熊谷の力」候補事業が決まりました

全9提案の応募があり、書類選考および公開プレゼンテーションによる選考の結果、下記の提案が候補事業として採択されました。 ◆市民活動推進課 ☎内線 329

種別	提案団体	事業名	所管課 (市のパートナー)	提案概要
市提案	NPO法人エコネット熊谷	涼しさ体感事業	企画課	「階段アート」など、視覚に訴え、涼感を演出する。さらに、緑化アート(「幼木持ち寄りアート」等)を実施、緑化の推進を図る。
	熊谷市認知症キャラバンメイトの会	サポーター・タグ普及事業	長寿いきがい課	認知症患者等の介護者は、トイレで異性を介護する時など、周囲の人の理解に不安を感じるため、介護中を示す札(サポーター・タグ)を作成、事業所等で講座を実施したうえで配置し、介護者へ貸し出し、介護環境の改善を図る。
市民提案	NPO法人子育てネットくまがや	子育て応援セミナー事業	こども課	子育て家庭の不安と負担の軽減を図り、家族や地域全体で子育てできるように、各種セミナーを開催し、子育て家庭および地域の子育て力の強化を図る。
	まちづくりプロジェクト めめまチャンネル	めめま周遊ポタリング事業	都市計画課	利根川サイクリングロードを活用し、妻沼地域を中心にポタリング(自転車散歩)のためのモデル事業(「自転車マップ作成」「自転車利用促進イベント開催」「レンタサイクル運営」)を実施し、地域の活性化を図る。
	特定非営利活動法人NPOくまがや	介護者サロンほっとたいむ事業	長寿いきがい課	在宅高齢者を介護する人を支え、孤立を回避できるように、介護者のサロン・交流会・支援セミナーを開催し、介護実態を把握する調査も実施する。
	甲山古墳を守る会	甲山古墳美化推進事業	社会教育課	古墳の原型が分かるように、下草刈り、外周路整備、案内板設置等を行い、地域の歴史資源とし、郷土愛を醸成しながら、地域の発展を図る。

熊谷市の広聴事業 お寄せくださいあなたの「ご意見・ご提案」

市では市民の皆さんとの協働による市政の実現を目指し、皆さんのご意見を市政に反映させるため、ハートフルミーティング、市長へのメール・手紙、パブリックコメントなどの幅広い広聴事業を実施しています。

市長が皆さんと語り合う場です ハートフル・ミーティング

市長が市内各所にお伺いし、重要施策についてお知らせするとともに、地域の課題について、皆さんと自由に語り合う懇談会です。開催日時と場所は市報と市ホームページでお知らせします。皆さんのご参加をお待ちしています。 ◆政策調査課 ☎内線368



◆広報広聴課 ☎内線206

皆さんからのご意見をメールで受付

市長へのメールの送信は市ホームページにあるメールフォームをご利用ください。

市長へのメール

市長への手紙をお送りいただくには、市役所情報公開コーナー等、各行政センター、出張所、熊谷駅・籠原駅連絡所、各公民館、男女共同参画推進センター、婦人児童館に設置してある専用用紙に、ご意見等を記入のうえ、ご投函ください。切手代金は不要です。

郵便で市への提言

市長への手紙

また、専用用紙以外のハガキ・封書等によるご意見等も受け付けます。その場合は、左記まで郵送してください。 ◆送付先 〒360-8601 宮町2丁目47番地1 熊谷市長あて

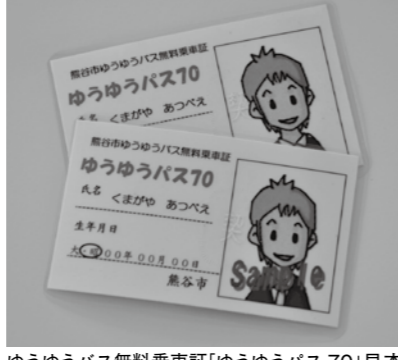
条例や計画案にご意見ください パブリックコメント

「パブリックコメント(意見公募)」とは、重要な条例や計画などの案を事前に公表し、これらに対して提出された市民のご意見を考慮して市の意思決定を行うとともに、いただいたご意見に対する市の考え方を公表するものです。政策形成過程における市民の市政への参画の機会を広げ、より透明性の高い行政運営を図ることができま。

例えば、本年2月にパブリックコメントを実施した「熊谷市地域公共交通総合連携計画(案)」(ゆうゆうバス関係)では、37名の方から合計108件のご意見をいただき、計画策定の参考とさせていただきます。 実施については市ホームページ、市報等でお知らせします。 ◆ご意見は郵送、FAX、電子メール、書面持参いずれの方法でも受け付けます。 ◆企画課 ☎内線529

70歳以上の高齢者の方へ 運転免許の自主返納をしませんか!

近年増加傾向にある高齢者が運転する交通事故の減少を目的に、ゆうゆうバス無料乗車証を交付しています。



ゆうゆうバス無料乗車証「ゆうゆうバス70」見本

発行までの手順

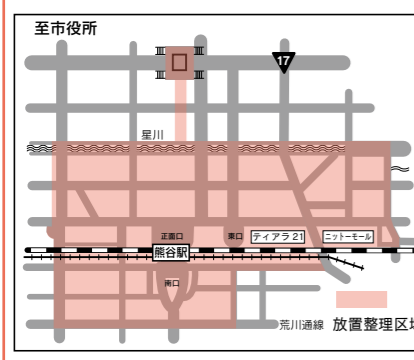
- ①免許を返納する前に、上記のとおり「必要なもの」を用意して、市役所3階企画課で申請してください。
 - ②警察署へ行き、運転免許を返納し「申請による運転免許の取消通知書」を受け取ってください。
 - ③右記の取消通知書の写しと引き換えに、市役所3階企画課で「無料乗車証」を受け取ってください。
- ※必ずご本人が手続きしてください。

自転車等の放置はやめましょう

「少しの時間なら」「みんなが置いているから」など、安易な気持ちで放置をする、自転車等が歩道をふさぎ、歩行者の通行の妨げや交通事故の発生源にもなります。また、乱雑に置かれた放置自転車等は、盗難に遭いやすいので、自転車駐車場に置きましよう。

なお、市では熊谷駅周辺の放置整理区域(左図)に自転車等が放置されたときは、警告札をはり、一定時間経過後に撤去を行っています。撤去した放置自転車等は、市で保管し、返還時に措置費用(自転車2,000円、50cc以下の原動機付自転車3,000円)を徴収しています。さらに、撤去後は、3か月保管後に処分します。

◆安心安全課 ☎内線285



対象 70歳以上の市民で、これから警察へ運転免許を自主返納される方
なお、有効期限が切れたこと等により運転免許が失効された方は対象となりません。
ところ 企画課(市役所3階) **必要なもの** 運転免許証(有効なもの)または保険証などの身分証明書、証明写真1枚(縦4.5cm×横3.5cm)。

自主返納についてのお問合せ
熊谷警察署交通課
☎048-526-0110
(8時30分～17時15分)
◆企画課 ☎内線215



「めめまカップ2010」決勝 常盤木対日本航空

第18回熊谷市高校女子サッカー大会 「めめまカップ2012」 キャッチフレーズ募集!!

2012年3月25日(日)～29日(木)に開催する第18回熊谷市高校女子サッカー大会「めめまカップ2012」のキャッチフレーズを下記により募集します。 最優秀作品は、ポスター・プログラム・要項他、大会に関する広告に活用します。

- 大会概要** 毎年3月に全国から48の高校女子サッカーチームが熊谷に集い、夏の全国大会前哨戦として熱戦を繰り広げます。なでしこジャパンW杯優勝メンバーのうち過去に9名が本大会に参加しました。
- 応募方法** 下記①～⑥を明記し(応募用紙あり)、申込み先へ持参・郵送・送信を。1人何点でも応募可。
- ①キャッチフレーズ(20文字以内)
 - ②キャッチフレーズの簡単な説明
 - ③氏名
 - ④郵便番号
 - ⑤住所
 - ⑥めめまカップへのご意見

応募期間 12月20日(火)必着
応募規定 ・自作の未発表作品に限ります。
・入賞作品に関する一切の権利は実行委員会に帰属します。
・作品を使用する場合、一部修正・変更をする場合があります。
表彰 入賞者は3月25日(日)開会式で表彰。記念品進呈
問合せ・申込み先 スポーツ振興課(実行委員会事務局)
※詳しくは市ホームページをご覧ください。
◆スポーツ振興課(市役所6階)
☎内線391 ☎048-525-9330
E-mail sportsshinko@city.kumagaya.lg.jp